

第11回全国ヴィンテージ8's交流大会の開催を中止にした理由

- 交流会は、選手・監督だけで全国から約800人、大会関係者を含めると延約1,200人の来場を見込む大規模なイベントであり、現在、ワクチンの開発や治療方法が十分ではない状況の中、大勢の人の移動に伴う感染拡大リスクが払拭できない。第2波・第3波の懸念や県内の医療体制等を踏まえ選手、役員や市民の安全確保を考えると、開催は困難との判断があること。
- 選手自身やチーム側から感染症対策が十分に講じられ、安全・安心が確保されるのかという疑問が多数寄せられていること。
- 6月時点で、都道府県予選会の約8割以上が延期や中止を検討しており、チームにおいてもようやく練習を再開できているところと、未だに練習会場の確保が難しいことから練習ができていないところがある。予選会が平等に実施できないこと。
- 練習環境が著しく制限されていたことから、準備不足で都道府県予選会や本大会に臨むことによる選手の外傷・障害のリスクが大きいこと。
- 競技役員や競技補助員などの運営側の人員確保が難しいこと、仮に確保したとしても諸室不足による待機場所など、運営側の問題も生じてくること。
- 参加カテゴリーを年齢層の高い選手に絞った大会であるため、感染が認められた際に重症化する可能性も見られ、より安全性を確保できないこと。
- 本大会の開催により、国内において新型コロナウイルス感染症の拡大を誘引してはならないということ。